

科目名		プレゼンテーション							年度	2024	
英語科目名		Presentation							学期	後期	
学科・学年		医療事務科 1年次		必修	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員		近藤圭子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		秘書		
【科目の目的】											
情報伝達の手法の一つであるプレゼンテーションを学び、聴衆に対して情報を提示し、理解・納得を得れるようにする。											
【科目の概要】											
多くの人の前で発表できるプレゼンテーションスキルを身につける。											
【到達目標】											
A. 聞き手に理解しやすいストーリー構成ができる											
B. 聞き手の視覚にうったえる、見やすい資料作成ができる											
C. 聞き手とアイコンタクトを取りながら、わかりやすく話すことができる											
D. 聞き手に聞き取りやすい声の大きさやトーン、メリハリをつけた話し方ができる											
E. 総合的に、聞き手の理解を得たり、納得感を持たせたりするプレゼンテーションができる											
【授業の注意点】											
情報伝達であるプレゼンテーションを学ぶ。相手に伝えることを第一に考え、より効果的な伝達手法を授業で行う。また、大勢の前で話す事を繰り返し行い、相手に伝える事を学ぶ。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価をつけることができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A		聞き手に理解しやすいプレゼンテーションのストーリーを構成することができる		聞き手に理解しやすいプレゼンテーションのストーリーをある程度構成することができる		聞き手に理解しやすいプレゼンテーションのストーリーの構成と手法を理解している		聞き手に理解しやすいプレゼンテーションのストーリーの構成と手法をあまり理解していない		聞き手に理解しやすいプレゼンテーションのストーリーの構成と手法をまったく理解していない	
到達目標 B		聞き手の視覚にうったえる資料を作成することができる		聞き手に見やすい資料を作成することができる		聞き手に見やすい資料のポイントを理解し、ある程度は作成することができる		聞き手に見やすい資料のポイントを理解しているが、作成にはまだ生かすことができない		聞き手に見やすい資料のポイントをまったく理解していない	
到達目標 C		周囲を見渡し、聞き手とアイコンタクトを取りながら、わかりやすく話すことができる		周囲を見渡し、聞き手とアイコンタクトを時折取りながら話すことができる		周囲を見渡し、聞き手とアイコンタクトを取る必要性は理解し、少しは実践することができる		周囲を見渡し、聞き手とアイコンタクトを取る必要性は理解しているが、まだ実践できない		周囲を見渡し、聞き手とアイコンタクトを取る必要性を理解していない	
到達目標 D		聞きとりやすい声の大きさやトーンで、メリハリをつけた話し方が実践できる		聞きとりやすい声の大きさやトーンで、メリハリをつけた話し方が少しは実践できる		聞きとりやすい声の大きさやトーンで、メリハリをつけた話し方を理解している		聞きとりやすい声の大きさやトーンで、メリハリをつけた話し方をあまり理解していない		聞きとりやすい声の大きさやトーンで、メリハリをつけた話し方をまったく理解していない	
到達目標 E		総合的に、聞き手の理解を得たり、納得感のある発表をすることができる		総合的に、聞き手の理解を得たり、納得感のある発表を少しはすることができる		総合的に、聞き手の理解を得たり、納得感のある発表の仕方を理解している		総合的に、聞き手の理解を得たり、納得感のある発表の仕方はあまり理解していない		総合的に、聞き手の理解を得たり、納得感のある発表の仕方をまったく理解していない	
【教科書】											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
課題作成、発表等を含めて総合的に評価する。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		プレゼンテーション			年度	2024
英語表記		Presentation			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	科目の基本理解	授業の目的、到達目標、評価およびプレゼンテーションの概要を理解する	1 授業進め方	授業の目的、到達目標、評価制度を理解している	2	
			2 プレゼン概要	秘書検定試験の意義、概要を理解している		
			3 アイデア創出の仕方	アイデア創出の仕方を理解している		
2	ストーリー構成	プレゼンテーションのストーリー構成を理解する	1 ストーリー構成	伝わるストーリー構成を理解している	2	
			2 ストーリーシート	ストーリーシートの機能を理解している		
			3 ストーリー作成	ストーリーシートを作成できる		
3	PowerPointの使い方（１）	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の使用法を理解する	1 基本機能	ソフトの基本機能を理解している	2	
			2 基本操作	ソフトの基本操作を理解している		
			3 応用操作	ソフトの応用操作を理解している		
4	PowerPointの使い方（２）	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の使用法を理解する	1 留意事項	ソフト活用上の留意事項を理解している	2	
			2 効果的な活用	ソフトのより効果的な活用の仕方を理解している		
			3 実践	ソフトの基本活用ができる		
5	ミニプレゼン準備	短い内容のミニプレゼンを準備を通して理解を深める	1 ストーリー作成	ミニプレゼン用のストーリーを作成できている	2	
			2 資料作成	ミニプレゼン用の資料を作成できている		
			3 留意事項の確認	留意事項の確認をし、改善点を見つけている		
6	効果的な表現（１）	効果的なコミュニケーション手法を理解する	1 伝えると伝わる	伝わる話し方を理解している	2	
			2 聞き手の不満	聞き手の不満を理解している		
			3 活舌ワーク	活舌よく話すことができる		
7	効果的な表現（２）	効果的なコミュニケーション手法を理解する	1 ノンバーバルワーク	表情やジェスチャーの効果的な活用を理解している	2	
			2 メリハリワーク	メリハリをつけて話すことができる		
			3 パーバルワーク	話し方のクセや改善点の有無を理解している		
8	ミニプレゼン実施	ミニプレゼンの実施を通して改善点を理解する	1 発表	学習した効果的な伝え方を実施できている	2	
			2 聞き方	協力的かつ積極的に聞くことができている		
			3 本番に向けて	本番に向けての改善点を理解している		
9	プレゼンテーション準備（１）	ストーリー構成、資料作成を実践する	1 プレゼン内容	プレゼンで必ず伝えるべき内容を理解している	2	
			2 ストーリー作成	ストーリー構成およびシートが完成している		
			3 資料作成	効果的な資料作成を理解し実践している		
10	プレゼンテーション準備（２）	効果的な資料作成を実践する	1 資料作成	効果的な資料作成を理解し実践している	2	
			2 ストーリー見直し	聞き手の立場で見直すことができている		
			3 資料見直し	聞き手の立場で見直すことができている		
11	プレゼンテーションリハーサル	リハーサルを通して、本番に向けた改善を図る	1 リハーサル	リハーサルを思った通りに実施できている	2	
			2 改善点確認	本番に向けた改善点を理解している		
			3 最終修正	本番に向けて最終修正ができている		
12	プレゼンテーション実施（１）	発表者と聴衆を経験し、理解を深める	1 発表	効果的な発表を理解しないしは実践できている	2	
			2 聞き方	協力的かつ積極的に聞くことができている		
			3 改善点確認	今後のプレゼンに生かすべき改善点を理解している		
13	プレゼンテーション実施（２）	発表者と聴衆を経験し、理解を深める	1 発表	効果的な発表を理解しないしは実践できている	2	
			2 聞き方	協力的かつ積極的に聞くことができている		
			3 改善点確認	今後のプレゼンに生かすべき改善点を理解している		
14	プレゼンテーション実施（３）	発表者と聴衆を経験し、理解を深める	1 発表	効果的な発表を理解しないしは実践できている	2	
			2 聞き方	協力的かつ積極的に聞くことができている		
			3 改善点確認	今後のプレゼンに生かすべき改善点を理解している		
15	プレゼンテーション実施（４）	発表者と聴衆を経験し、理解を深める	1 発表	効果的な発表を理解しないしは実践できている	2	
			2 聞き方	協力的かつ積極的に聞くことができている		
			3 改善点確認	今後のプレゼンに生かすべき改善点を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等